

## ナイトアノール等12種の特定外来生物への指定に係るパブリックコメントの意見の概要と対応の考え方

- \* ①被害の判定に係る科学的知見に関するコメント、②社会的・経済的影響に関するコメント、  
③その他(心情的理由、手続に係る理由など)

	意見の概要	対応の考え方
賛成 ①	ナイトアノール等12種は生態系に係る被害を及ぼすおそれがあり、特定外来生物に指定するのが適当であるという今後の指定に賛成の意見です。	ナイトアノール等12種について、特定外来生物に指定する必要があると判断しています。
反対 ③	確かに生態系を守るのも大事ですが、全部が全部ダメと言ってしまうの良くない事だとも思います。そうでなければ責任をもって飼育している飼育者達が、あまりにも可愛そうです。どうかもう一度よくお考えください。	ナイトアノール等12種はいずれも国内で定着する可能性があり、定着によって生態系に被害を及ぼすおそれがあります。このため、特定外来生物として指定し、その輸入、放逐等を規制する必要があると判断しています。なお、特定外来生物に指定されても、指定の際現に飼育している場合は、許可を得て引き続き飼育することが可能です。
反対 ①	どの種類もほとんど我が国での帰化が認められておりません。ナイトアノールは動きがゆったりしていてペット向きです。ストレスのたまる現代人の心を癒してくれます。動きのすばやく、かつ繁殖力の旺盛なグリーンアノールは我が国の自然に対し、悪影響を与えています。ナイトアノールであればその心配はありません。以上のことより、今回挙げた12種類を特定外来生物からはずしていただきたいと思えます。	ナイトアノール等12種について国内での定着事例が無いことの認識はありますが、今後、生じ得る様々な状況を想定した場合、国内の特定の地域で放逐されればいずれも定着する可能性があり、定着によって生態系に被害を及ぼすおそれがあります。このため、特定外来生物として指定し、その輸入、放逐等を規制する必要があると判断しています。
その他 ①	現在、大型昆虫(クワガタ・カブト虫等)の輸入に際してもとても深刻な現状になっていると思えます。すでに、交雑種がみられ、日本固有種が現状森林の減少とともに少なくなっているのにさらに輪をかけて、これらの大型昆虫にいずれ占有され絶滅の危機に陥るおそれがあると思われます。これらの輸入大型昆虫の輸入量は、年間増加し、また子供たちにも人気があります。カモ強く飼育容器から安易に逃げ出してしまうようです。また飼育放棄の影響もあるようです。また、これらの昆虫にもし寄生虫が付いたら、植物や他の昆虫類等にも影響がでるとおもわれます。すでに、交雑種が発生している現状、絶滅に陥らないため、これらの昆虫も特定外来生物に指定の検討が必要であるとおもわれます。	クワガタムシについては、要注意外来生物として適切な取扱いについて理解と協力をお願いしています。御意見については参考にさせていただきます。
その他 ①	日本固有種のイシガメ・クサガメの生息域を侵害しているミシシッピーアカミガメ(ミドリガメ)を候補として挙げてください。ミドリガメは日本の自然で育まれたクサガメやイシガメと違い、くちばしがとても鋭くなっています。近い将来、ミドリガメに咬まれたことにより訴訟することが生じるかもしれません。また、ミドリガメの販売を禁止することにより、古来から日本で生きていたイシガメやクサガメを大切にすることにつながるかもしれません。日本人とイシガメ・クサガメのためにもご検討をよろしくお願いいたします。	ミシシッピーアカミガメについては、要注意外来生物として適切な取扱いについて理解と協力をお願いしています。御意見については参考にさせていただきます。